

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第60回 ビジネス文書実務検定試験 (30.7.1)

第1級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第60回 ビジネス文書実務検定試験 (30.7.1)

第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

我が国では、人口の減少や高齢化などにより、地方都市が衰退している所もある。特に、中心市街地や商店街の衰退は著しく、住宅や店舗などが郊外に拡散して、空洞化が進んでいる。このことにより、地域の活力が弱まり、医療や福祉、商業などの生活機能を確保しにくくなっている。これまで、活性化のために数多くの対策がとられてきたが、一部を除き効果は上がっていない。	30 60 90 120 150 174
将来的に地方都市では、拡散した市街地で公共サービスを継続することが、難しくなると予測されている。解決の方策として、住宅や公共施設、商業施設などを集め、コンパクトで効率的な街づくりを進めていくことが重要になる。また、地域の公共交通と連携し、コンパクトな街同士のネットワーク化を進める改革も大切だ。これらの政策により、持続可能な都市に変えることができる。	204 234 264 294 324 351
このような取り組みを進めている富山市では、円滑な交通を目指し、LRT（次世代型路面電車システム）を導入することで、効果を上げている。LRTは、車両の床が低く設計されており、子どもから高齢者まで安全に利用できるため、多くの市民に親しまれている。また、一般の鉄道と比べて、多くの停留所が設けられるために様々な所で乗降もできる。これらの利点を生かして、公共交通を軸とした拠点集中型の街づくりを進めている。	381 411 441 471 501 531 552
コンパクトな街を形成すれば、市民にとって通勤や買い物などのアクセスが良くなり、移動が楽になる。例えば、移動の手段が限られていた高齢者は、外出の機会が増える契機になる。自由な時間が増えれば、ライフスタイルにも選択の幅が広がるだろう。地域ごとの望ましい将来像を描いて、コンパクトな街づくりが進んでいくことを期待したい。	582 612 642 672 702 710